



月花のたより 冬号



命が輝いているような銀杏に数々の楓や紅葉、鳶。目にも鮮やかな冬将軍の到来を待つ候となりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。先ず、各国で躍動的な活動を続けている志賀夢さんの報告からご紹介します。



こんにちは。志賀夢です。旅をしながら様々な場所で演劇活動をしています。10月には韓国へ。11月にはメキシコを旅して、シティーにある高校とケレタロのコミュニティーセンターで短い踊りを披露すると、会場全体が吃驚するくらい真剣に見てくれて、「OTRA! (もう一曲!)」と子供の掛け声までかかり、とても励みになりました。遥家元の教えを胸に、これからも様々な場所で踊り、演じて日本文化を伝えていきたいと思います。

<活動報告>

10月・11月 東京音頭合同稽古 (於：東京稽古場)

お浚い会に向けて幾度も集まり猛特訓しております。その日の参加者によって立ち位置が代わり、それにより担当する振付けのバリエーションが変わる、集中力を養うご指導を頂き、大変鍛えられています。

<今後の活動>

*雪月のお浚い会 (於：浅草公会堂4階 第2集会室)

12月18日 (木) 13時開演 ※同封のプログラムご参照ください

この一年それぞれの目標を胸に、稽古に取り組んで参りました。師走のお忙しい時期とは存じますが、お運びいただき叱咤激励を頂戴できれば幸いです。

*総会および新年会

令和8年2月11日 (水・祝) 11時45分開始

於：神楽坂ラリアンス (東京都新宿区神楽坂2-11) TEL03-3269-0007

JR「飯田橋駅」西口より徒歩3分/地下鉄「飯田橋駅」B3出口より徒歩1分

◇会費：1万円 ◇お申込み：月花麗人社03-5814-2262迄 (申込締切：1月20日)

新年を寿ぐ晴れの日を是非ご一緒に!!お待ちしております。



～ 歳時記 志洸 語りぐさ ～

【12月6日】我が家で年末の大掃除をするのは昔から12月6日。

まず3メートル程に笹竹を採り、2本束ねて家屋の外回りを

「すす払い」（神社仏閣などで行われる光景と同じです）。

続いて座敷。我が家の大きな神棚に在るお社、恵比寿大黒、お札等。そして畳、襖、障子、床の間の小物等を次々に庭に出し、畳を陽に干し、シュロの木の枝で叩いて埃を払います。

全てにはたきを掛け、拭いて綺麗に整え、

家の中はやはり、はたきで払い、柱や長押を含めて掃き掃除と雑巾掛け。

屋内の掃除が終わると、歳神様、天照皇大神、氏神様（白神社）のお札を納めた

お社を、恵比寿大黒と共に神棚にお戻しします。畳など外に出した物も入れ直してい

き、荒神様のお社も同じく掃除して新しいお札を納め、台所の荒神棚にお戻しします。

この日の昼食は、おかずを必要としない大根の千切りを具とし味噌味で卵とじをしたおじやです。

今では日頃掃除機等で掃除をしているので、昔とはちがい大掃除というより少しずつ全体に行き届くように、障子張り、硝子磨き、その他の場所の掃除は少しずつして暮れまでに済ませます。

【12月28日】いよいよ「おもちつき」！（「苦」をつくと言われ昔から29日には行いません）前日に餅米を30kg研いで水に浸けておきます。昔は朝3時から始めて8時には終わっていましたが、今では一族が集合し、バーベキュー等を含めた一大イベントになっています。現在は竈がないので、外に簡易かまどを2台据え、ふやかした餅米を3升ずつ計って蒸籠に入れ、2段窯に乗せ蒸していきます。一回分を約1時間程蒸しては臼で搗き、皆で楽しみます。あんこ、きな粉、大根おろし、納豆等をまぶした搗きたてのお餅はとても美味しいです。



左 渡邊家当主の御主人様と
姉さん被りの志洸さん
主人と私

右 志洸さんとお孫さんたち
孫と私



さらに「のし餅」を作り、お正月用にお供え(鏡餅)を作って各自持ち帰ります。

「鏡餅」は床の間用を一番大きくし、次に神棚、天照皇大神、歳神様、次に恵比寿大黒、とサイズを変えて作ります。我が家用に12組、持ち帰り用を含め大小さまざま30組ほどを娘、嫁、姪、孫たちが楽しんで作ります。

【12月30日】「お飾り」をする日（一夜飾りにならないようこの日に飾ります）。

神棚のごぼうじめ、荒神様ごぼうじめ(小)、床の間、仏壇、子供部屋、離れ(2箇所)、門、物置、車庫、お稲荷様、井戸神様、山神様、川神様
輪飾り12個を以上の場所に半紙を敷き、鏡餅・お飾り・お神酒鈴を供えます。
外飾り3箇所は木の枝に輪飾りを付けます。

（稲作をしてお米を作っていた頃はお飾りも手作りしていました）

神棚には、竹に藁をスダレのように編み付け、歳神様、天照皇大神、恵比寿大黒の前を開き、ゆずり葉を付けて縛ります。荒神様には小さなメ縄を、その他の場所には輪飾りを作りました。（松の内が終わると、当時は神棚の藁を切り取り、田植えの苗をまとめる時に使っていました）床の間には天照皇大神の軸を掛け、三つ編みにした縄を掛け軸の上に付けます。神棚、荒神様の榊に松を飾り、仏様の花にも松を入れます。

【12月31日】庭や外まわりの掃除、雑巾掛け、おせちの仕度等をして夕飯に年越し蕎麦を全員でいただき、主人が家族一人一人の頭上を幣串で「お祓い、お祓い」と唱えながらその年の厄を祓い、その後自宅前の辻に幣串を納めます。

こうして全ての事を終え、新年を迎えます。



こんなに  ております。また、自身の生活を省みずにはいられません。私はいま戦前から続く祖母が残してくれた旧家に暮らし、意外にも頑丈で日々繊細な表情を見せてくれる雪見障子や大正ガラス、畳の温かみに囲まれております。天井や土壁から降り注ぐ砂を掃き、庭の苔の周りの草引きをしていると、この家に愛着が湧いてきます。感謝の気持ち、一家の安寧を願う心、きらきらした希望を、日々の暮らしの中に見出している真っ最中です。皆様もどうぞお健やかに良い新年をお迎えください。

令和7年師走 坂東 志賀太郎